

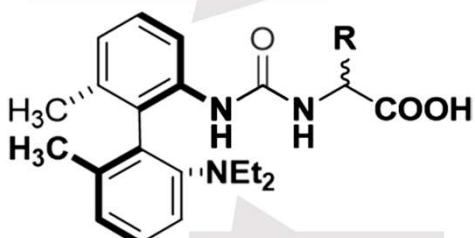
## D/L-アミノ酸(キラルアミノ酸)LC/MS分析用誘導体化試薬 (R)-BiAC

アミノ酸は生体内や天然に広く存在する化合物です。アミノ酸はほとんどがL-アミノ酸として存在していますが、近年、鏡像異性体として微量に存在するD-アミノ酸の、記憶・学習能力への関与<sup>1)</sup>等の機能性が明らかにされ、L-アミノ酸と分離分析する重要性が高まっています。(R)-BiACは、D/L-アミノ酸をLC/MS(プレカラム誘導体化法)で分析する際の誘導体化試薬です。本品と専用の試薬セットを用いる事で、キラルアミノ酸分析を高分解度・短時間(19分)かつ、専用機器を用いずに行う事ができます。

1) Hashimoto, A., Oka, T.: *Prog. Neurobiol.*, **52**, 325 (1997).

### 特長

キラルセレクター  
20種のD/L-アミノ酸を分離！

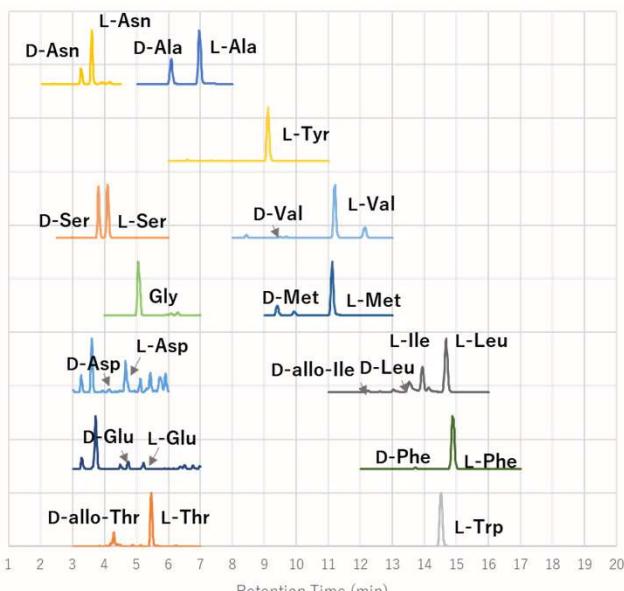


検出基  
MSでのイオン化効率を  
上げ、高感度に検出！

- ✓ 専用装置を用いずに、LC/MSでキラルアミノ酸を測定可能！
- ✓ 20種類のD/L-アミノ酸を約19分で一斉分析可能！
- ✓ キラルアミノ酸を高感度で検出可能！
- ✓ 誘導体化に必要な専用試薬セット  
(Code No. 296-86001)をご用意！

### 分析例

#### ヒト尿中キラルアミノ酸の分析例



#### 乳酸菌飲料中キラルアミノ酸の分析例

